

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	機械学習を用いたポリコナゾール血中濃度予測モデルの評価と最適モデルの選択 (B24-177)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院 薬剤部 小松敏彰・係長
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	ポリコナゾールの血中濃度を予測するために、複数の計算モデル（母集団薬物動態モデル）が開発されています。しかし、どのモデルが最も正確なのか、どの患者さんにどのモデルを適用すればよいのかについては、十分に検討されていません。本研究では、当院で実際に測定されたポリコナゾールの血中濃度データを用いて、既存の予測モデルの精度を比較します。さらに、患者さんの年齢や腎機能・肝機能などの背景が、どの予測モデルの選択に影響するのかを解析し、最適な予測方法を検討します。
調査データ 該当期間	2010 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に北里大学病院でポリコナゾール製剤が投与され、血中濃度測定が行われた患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	2010 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床薬学大講座 薬物治療学Ⅰの研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	<p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属・職位：薬剤部・係長</p> <p>担 当 者：小松 敏彰（こまつ としあき）</p> <p>電 話：042 - 778-8123</p>
備 考	